

現在、Wリーグ（バスケットボール女子日本リーグ）トヨタ自動車アンテロープスに所属し、7月に日本で開催される東京2020オリンピック競技大会の女子バスケットボールで活躍が期待される5人制日本代表候補の馬瓜エブリン選手と3人制日本代表候補の馬瓜ステファニー選手の姉妹にオリンピックにかける想いや東郷町への想いを聞きました。



左からエブリン選手、ステファニー選手

キャリアはここから始まった

小さいころからテレビでNBAの試合を見ていて、ドウェイン・ウエイド選手に憧れていたというエブリンさん。小学4年生で町内で活動するミニバスケットボールチーム『東郷Bee』に入ってからバスケットボールを始めました。姉の姿を追って3歳年下の妹ステファニーさんも同チームへ。2人ともすぐに頭角を現しました。エブリンさんは『東郷Bee』の間と一緒に楽しくバスケットがやりたいと進んだ東郷中学校のバスケットボール部では、地区大会で敗退し、上位大会に進むことはできませんでした。

その後、2人とも女子バスケットボールの名門高校『桜花学園』に入学すると、インターハイや、国体の優勝など高校三冠を獲得し、アンダーカテゴリーの日本代表にも選出され活躍しました。

2人を育てた東郷町

2人のバスケットボールの原点となる東郷町での思い出を聞くと、エブリンさんは「町民体育大会ですね。」

全町民が一堂に介して行う運動会はほかではあまりないと思います。とても楽しかったです」と話します。また、ステファニーさんは「町民納涼まつりで東郷音頭を踊ったことをよく覚えています」と2人で東郷音頭を□ずさんでくれました。給食で提供されたお米のタルトの話題になると、姉妹のテンションは最高潮に。「給食で食べました。懐かしい。とても好きでした」と□をそろえて微笑みます。

メダルを取って恩返し

東郷町のミニバスケットチームから始まった2人のバスケット人生。今の2人の目標はもちろんオリンピック。まず、代表に選出されるためにそれぞれがやるべきこと、できることを精一杯やって、自分たちの強みをさらに強化していきたいと話します。

最後に2人から、応援してくれる東郷町の皆さんへ「私たちは東郷町の人たちに育ててもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。日本の代表、トヨタ自動車の代表、そして東郷町の代表として日本代表になり、オリンピックでメダルを取って皆さんに恩返ししたいです。応援

をお願いします」と熱いメッセージをいただきました。

間近に迫った東京2020オリンピックでの2人活躍が待ち遠しいですね。

オリンピックはもちろん、トヨタ自動車アンテロープスでの2人の活躍にも期待し、応援しましょう。2人の活躍から目が離せません。がんばれ！エブリン選手、ステファニー選手。



ステファニー選手



エブリン選手